

広報官紹介



所属・担当	隠岐の島駐在員事務所 (隠岐の島町、海士町、西ノ島町、知夫村)
氏名	原口 大輔
入隊年月	平成12年4月
入隊の動機	野球ができる環境があったから
印象に残っている出来事など	全国官公庁野球大会 全国天皇杯野球大会出場
自分にとっての自衛隊の魅力	たくさんの人との出会い

こんにちは、広報官3年、自衛隊勤務20年になりました隠岐の島駐在員事務所に所属しています原口 大輔です。出身は鳥取県米子市で、航空自衛官です。勤務歴は航空自衛隊 美保基地で航空機の整備員として約17年間勤務し、平成30年3月に隠岐の島駐在員事務所 広報官を希望して着任してきました。島前（西ノ島町、海士町、知夫村）3島と島後（隠岐の島町）の4つの島で陸上自衛官のパートナーと一緒に募集・広報活動をしています。

隠岐の島では、中学生の野球クラブの指導者として子供たちや保護者の方々・先生たちと出会い、春から秋にはエギングでアオリイカと出会っています。そんな中、ソフトボール大会があり、自衛隊の保護者の方にチームに誘っていただき、その大会で初優勝。そこでたくさんの島民の方々や漁師さんたちとも出会えることができました。誘っていただいた人は『出会っていいよね！』がいつも口癖で、その言葉通り今では隠岐の島ソフトボール大会の運営・幹事までさせていただくようになりました。

【広報官が最初に出会う初めての自衛隊の人】というのが私の広報官での大切にしている事の一つです。私が今もなお20年間自衛隊勤務を継続できているのも、当時の広報官の方が自衛隊に入隊する前には親身になって話を聞いてくれたこと、そして入隊してからも陰ながら応援してくださる人と出会えたからだと思います。もちろん、今までの勤務先で出会えた先輩・後輩そして同期・同僚たちにもたくさん恵まれました。広報官である以上、たくさんの人と出会い、自衛隊の魅力や「やりがい」を伝えること、出会えた事を大切にすること、そして一番の目標は憧れられるような広報官を目指してこれからも頑張っていきたいと思っています。

